

ボーイ隊長からの情報なのだ。



YouTube

オーブンの中で、ジンジャーブレッドマンが、Haka(ハカ)を踊るぞ！
とりあえず見てみな！
ハカと言ってもお寺にあるオハカじゃないぞー。
映画『シュレック』にも、このジンジャーブレッドマンなるものが出ていたが、正式には何者かは良く分からぬ。

こちらから→ <http://www.youtube.com/watch?gl=JP&hl=ja&v=8GYX3oaRJfs>

Ginger bread doing the Haka

ジンジャーブレッドマンのHaka(ハカ)

ジンジャーブレッドマンは、16世紀のイギリスの国王ヘンリー8世が、ペスト対策として国民にしうがを食べるよう奨励した結果、小さな人の形に焼いたジンジャーブレッドが食られるようになったと言われており童話にもなっている。

Haka(ハカ)とは、スカウトソングブックにも載っている、マオリの民族舞踊。本来はマオリの戦士が戦いの前に踊るものであり、手を叩き足を踏み鳴らして叫び、自らの力を誇示し、相手を威嚇する。現在では国賓を歓迎するために行われるほか、ラグビーニュージーランド代表チーム(オールブラックス)やニュージーランドのプロラグビーリーグで試合前に行う。英語でウォークライ(War Cry)とも言う。このHakaをオーブンの中でジンジャーブレッドマンが歌い踊るニュージーランド産小麦粉のTVCム(たぶん？)か、パロディーであると推測される。

* このジンジャーブレッドマンのHakaは、ボーイ隊長からの自慢のYouTube情報である。以前は大浴場で良くスカウトたちとHakaをやっていたのを見たことがある。

現在は、女子スカウトのみのため、ハカない夢である……。

歌詞

リード

カ マテ! カ マテ!

コーラス

カ オラ、カ オラ!

リード

カ マテ! カ マテ!

コーラス

カ オラ、カ オラ!

テネイ テ タンガタ プッフル=フル ナア ネイティキ

マイ フアカ=フィティ テ ラ!

ア ウパネ! ア フパネ!

ア ウパネ! カ=ウパネ!

フィティ テ ラ!

ヒ！ (ジャンプする)

和訳

意味:私は死ぬ！私は死ぬ！
私は生きる！私は生きる！
見よ、この勇気ある者を。
ここにいる毛深い男が再び太陽を輝かせる！
一步はしごを上へ！さらに一步上へ！
そして最後の一歩、そして外へ一歩！太陽の光の中へ！

と、意味はよ一分からん。

M副長お取り寄せB級グルメ



この『ふりかけ』は、子供の時から食べていたもので、実家からの送られてくる宅配便に必ず入ってくる。いりこを丸ごと粉にして作られたカルシウムたっぷりのふりかけなのだ。これさえあれば、おかずなしでもいいける。ご飯に混ぜておにぎりにしたり、玉子焼きに混ぜてもおいしい。32g袋入りで115円。たまに、上野駅の臨時売店(九州物産)で見かけることもある。そういうえば丸美屋『エイトマンふりかけ』もシール欲しさに食べた記憶が……。懐かしいー



◆ふりかけの元祖 御飯の友

御飯の友は全国ふりかけ協会が公認しているふりかけの元祖。この御飯の友が熊本で作られたのは大正初期。薬剤師の吉丸末吉氏によって考案されたそうである。当時、食糧不足の時代背景の中で、日本人にはカルシウムが不足しており、それを補う方法として、「魚の骨を粉にして御飯にかけて食べる」という発想にたどりつき、そこで、小魚を乾燥させ、粉末にして調味し、青のり・ごまなどを加えておいしく食べられるように加工した。これを、乾燥を防ぐために口の狭い瓶に入れてコルクの栓をして蛍で固着。これが最初のふりかけ、御飯の友です。